

筑波大学新聞

第239号

編集責任
筑波大学新聞
編集委員会
委員長 嶺 隆

TEL:029(853)2040・6699
e-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

紙面から

授業評価二学期末に実施	2
ダンス部 史上初の4連覇	5
アテネ・パラリンピック 選手紹介	6
ズームアップ研修所の利用者激減	7
AC一期生 62歳片桐さん卒業	9
就職活動支援本格化	10
12月11日	11
特集	6, 7
検証・車いすの学生生活	10
三二特集	3
教職員の給与に見る大学の新しい財政事情	11

学群再編基本案12月に

執行部が意見聴取を開始

06年度の実施を目標にして、学群・学類再編の基本案が12月にも確定する見通しとなった。8月中旬に学群・学類再編検討委員会が、執行部が意見聴取を開始した。

「学群・学類再編検討委員会」は若崎学長を委員長に、副学長5人、吉武博通学長特別補佐、学群長7人、博士課程研究科長7人、修士課程長、笹井弘之調整官の23人で構成する。法人化準備委員会や将来設計検討委員会との議論をもとに検討することになる。

再編案は、受験生、社会からわかりやすく、魅力的な組織にする。博士課程の組織編制との整合性などを考え、学生・教員・事務組織との関係を簡単にし、学群制度を維持した上で、学群の責任・権限を明確にすることなどを基本的な考え方として検討する。

昨年度から各学類などで再編案を議論してきたが、今後は、教育現場の実情や要望を踏まえるため、委員会が学群長らとの対話や連携に努めるとしている。既に執行部は、学群長らと部長との意見交換を始めている。

学群・学類再編の実施は、4月1日の発足式で若崎学長が、大学院修士課程の研究成果による、2つのベンチャー企業が設立された。

ILC創業支援プロジェクト

産学リエゾン共同研究センター(ILC)の創業支援プロジェクトから、松村正利教授(生命環境)と山崎嘉之教授(システム)の研究成果による、2つのベンチャー企業が設立された。

松村教授ベンチャー設立へ

産学リエゾン共同研究センター(ILC)の創業支援プロジェクトから、松村正利教授(生命環境)と山崎嘉之教授(システム)の研究成果による、2つのベンチャー企業が設立された。

21世紀COE採択されず

5件申請、ヒアリング1件 情報収集、アピールに課題

大学の優れた研究拠点に重点的に研究資金を支援する「21世紀COEプログラム」の今年度の採択結果が7月21日に発表された。本学は5件申請し、1件がヒアリング審査に進んだが、不採択に終わった。今年度は「革新的な学術分野」が応募の対象で、全国24大学の28件が採択された。

国際経営の専門職大学院 来春開設 全国初の夜間開講で 法科大学院は秋葉原に

に学生を募集する。夜間開講の法科大学院は、秋葉原駅前に建設中の秋葉原クロスビルに開設される。国際経営プロフェッショナル専攻は、従来のビジネススクールに国際対応領域と応用情報領域を加えて、国際経営における新しい経営者の育成を目指す。日英2言語教育に重点を置き、講義の半分は英語で行う。専任教員は17人。うち約4割が外国人教員。過半数を民間企業経験のある実務家を招く予定だ。

「単にアメリカの方法を真似るのではなく、日本の経営の良さを生かした、多角的な教育を目指したい」と語ると、法科大学院設置準備推進委員会の新井誠委員長(同)は、「社会人教育や夜間大学の長年の経験から得たノウハウが特徴。多様な人に法曹資格を与えることに貢献したい」と語る。

同研究科は90年から企業法専攻を開設しているため、知的財産権や信託、社会保障などが特に充実している。

法科大学院設置準備推進委員会の新井誠委員長(同)は、「社会人教育や夜間大学の長年の経験から得たノウハウが特徴。多様な人に法曹資格を与えることに貢献したい」と語る。

「単にアメリカの方法を真似るのではなく、日本の経営の良さを生かした、多角的な教育を目指したい」と語ると、法科大学院設置準備推進委員会の新井誠委員長(同)は、「社会人教育や夜間大学の長年の経験から得たノウハウが特徴。多様な人に法曹資格を与えることに貢献したい」と語る。



破顔 谷本歩実

オール一本勝ちの金 本学28年ぶり5人目

アテネ五輪女子柔道63kg級の完勝だった。口級で谷本歩実選手(平成15年度体育専門学群卒、王者の金メダル獲得は、19マツ)が、決勝でオーストラリアのクラウディア・ハイを一本勝ち、念願の金メダルを獲得した。決勝まで5試合で相手に1ポイント(写真提供:共同通信社)も与えず、すべて一本勝ち(9面に関連記事)。

OB初の国会議員



足立信也 参議院議員

で、元臨床医学系助教授の足立信也さんが、7月11日に行われた第20回参院選で当選した。前身校からは小野清子・国家公安委員長(参議院)などが出ているが、本学の卒業生が国会議員になるのは初めて。(2面に関連記事)

筑波雑記

「学生時代、水だけで1週間生活したことがある。近くの雑草を食べたこともある。」

教職員の給与にみる 大学の新しい財政事情

国立大学法人化に伴い、教職員の労働環境は大きく変わろうとしている。予算配分の裁量権を得た大学当局は今後どのような財務方針を打ち出すのか。教職員の給与問題を中心に、法人化後の財政を考へる。(本紙・伊木緑「国際総合学類」)

私大教授から転任
月給 51万9700円



A教授

A教授は、博士課程修了後、私立大学に助手として採用された。講師、助教授、教授と昇進し、20年間勤続した。今年4月、本学に教授として転任。



B系長

教員の場合、初任給決定の要素になるのは、学歴、前職の職種、経験年数だ。学歴は、短大卒から学士、修士、博士課程修了まで、4段階に分かれる。前職が教員の場合、医師・研究員を筆頭に、採用された職種と比べ、評価する。出身が民間企業などの場合は、採用前の業種・経験と採用された職務を照らし合わせ、

職員の場合、初任給は学歴と採用時の試験の種類(国家公務員、種別、法人等職員採用試験)によって定められる。扶養手当は、配偶者に1万3500円、22歳以下の家族には2人まで6000円、3人目からは5000円、16歳以上22歳以下の家族にはさらに5000円加算する。60歳以上の父母や祖父母を扶養している場合も、6000円の手当がある。このほか通勤手当、住居手当、危険作業や高所作業に従事する職員への手当などがある。

40歳男性
月給 30万8600円



ポストドクCさん

今年3月に理系の博士課程研究科を修了したCさんは4月以降も研究室に残って研究を続けている。いわゆるポストドクだ。非常勤職員として採用されたため、勤務時間数に上限があり、諸手当や社会保険費などが給付されず、不満を感じている。

新卒、理系
ポストドク
時給 1750円

採用する。この場合の初任給は19万8600円だ。2つ目は、外部資金による任期付き非常勤職員の場合で、教員と同じ俸給表が用いられる。この場合、助手に相当し、初任給は27万6600円。3つめがCさんのケース。非常勤職員として採用される。給与は時給で換算する。筑波地区での採用の場合、時給は1750円。勤務時間数に上限があり、勤務時間数を越えて働いても、超過分の給与は支払われない。通勤手当などの各種手当も支払われない。

法人化後の労働条件



法人化後、本学の教職員の労働条件はどのように変わっていくのだろうか。人件費と処遇の関係について、吉武博通・学長特別補佐(ヒジ)

ナス・教授)に話を聞いた。吉武教授は、法人化準備委員会・労働条件分科会の座長として就業規則などの制定に携わり、労使関係を調整した。現在は、民間の経営手法も取り入れながら大学改革に取り組んでいる。

人事院から労基法へ

国立大学法人化に伴うように、教職員に対する給与は、予算・人事上の変化は、権限が各大学へ委譲されたことだ。各大学は、運営費交付金という名目の予算を、それぞれの裁量で配分することができる。近年、任期制の導入が問題になっている。任期終了後、再任には評価を受ける。大学教員の世界にも、成果主義が浸透し

教職員は非公務員となり、労働基準法の対象となったため、本学も就業規則を整備した。給与の激変を避けるため、今年度までは給与、各種手当、勤務時間などの労働条件の変更は行わなかったが、来年度以降変更される可能性がある。

限られる人件費 有意義に

昨年年度決算で、人件費は歳出全体の5割程度を占めている。従来、文部科学省からの予算は使途が定められていた。教職員の昇給で人件費が増えることも、他の予算を圧迫することにはなっていた。しかし法人化後は、各大学の自ら予算を編成し、運営費交付金をはじめとする収入の範囲内で柔軟に支出できるようにすることになった。教育・研究経費を十

分には、確保するために、人件費など固定の費用をできる限り抑制する必要がある。本学は31年前の開学時から職員を大量に採用した。教員についても評価や過半数代表や労働組合の意見も聞き、検討した。教職員を不安に陥れない制度設計が必要だ。人件費を抑制しつつ、教職員のモチベーションを高め、教育・研究の質向上につながる改革を検討していきたい。(談)

事務・技術職員も対象に

教職員が地域社会で展開する活動を支援する「社会貢献プロジェクト」と教育の質の向上を図る組織を支援する「教育プロジェクト」が7月採択された。広く候補を募るため公募方式とし、今回初めて、事務・技術職員にも対象を広げた。社会貢献プロジェクトは、応募92件から9件、800万円分を採択した。油

自由研究お助け隊2004

中学生の夏休みの自由研究を手助けしようという技術職員による「自由研究お助け隊2004」が、7月31日と翌8月1日に行われ、つくば市内を中心に中学生44人が参加した。写真

この催しは、自由研究を通して中学生に科学の楽しさを体感してもらおうと、技術専門官の高藤静夫さん(数理物質等支援室)ら21人の技術職員が企画した。自由研究を始めた中学生は、高藤さんら技術職員が指導する。高藤さんは「愛玩動物の飼育方法」な



自由研究お助け隊の活動の様子。高藤静夫(左)が指導している。

再配分が可能に

今年度の重点及び戦略的経費の配分が始まった。従来の学長裁量経費と違い、「大学改革・改善推進経費」など使途を明確にしたほか、残額があれば返還し、再配分できるよう改めた。教育改革・改善推進経費は、法科大学院などに重点配分し、更新期を迎えた施設整備などに充てる。また、大学院生の指導力を向上させ、経済的支援を図るため、ティーチング・アシスタント(TA)経費やリサーチ・アシスタント(RA)経費を見直す。来年度には規模を拡大し、実質化したいという。

自動車通学制限 緩和に向け調査

交通安全会(理事長「工藤典雄副学長」総務・企画担当)の理事会が7月2日開かれ、会則の変更や昨年度決算、今年度予算案などを承認した。学生の自動車通学を認める範囲について、工藤理事長は「制限を緩和できないか支援を通じ、調査したい」と、前向きな姿勢を示した。石田東生理事(システム・教授)が、自動車通学を認める範囲を現在の2・5キロから2キロに緩和するよう求めたことに答えられた。石田理事は、ゲート付駐車場の稼働率が低いことを、効率的に運用するよう求めた。ゲート付駐車場の収容台数が占める許可台数の割合が本部棟前駐車場82・9%(6月18日現在)にとどまるなど、利用が伸び悩んでいる。また、会則の変更で、来年度から春日キャンパスの駐車場利用者も交通安全会に入会することが決まった。

患者32人からサルモネラ菌

本学附属病院の入院外来患者32人からサルモネラ菌が検出され、下痢などの症状を訴えた。7月30日以降の発症はなく、全員、快復したという。茨城県保健衛生部の調べによると、病院内の調理施設で出た給食が原因。附属病院は調理室などの清掃、消毒を行い、同月29日から調理を再開している。

廃棄冷蔵庫からウラン化合物

臨床医学系の研究室が廃棄した冷蔵庫の中から、ウラン化合物の溶液約5ccが入った試験管が7月10日、つくばクリーンセンター(つくば水守)で見つかった。冷蔵庫内には、500ミリリットル入り容器9本分の過酸化水素水も入っており、濡れた容器に作業員2人が触れ、3、4日の火傷を負った。冷蔵庫や試験管は本学が回収し、環境安全管理室によるウラン化合物は、電子顕微鏡で試料を見る際に用いる酢酸ウランで、放射線量は0・13マイクロシーベルト/時と低く、安全上問題はないとしている。冷蔵庫の廃棄には同学系の教員らが携ったが、内部の確認を怠り、試験管に気付かなかったという。ウラン化合物溶液と過酸化水素水は、同学系の別の教員が以前購入したもので、

患者32人からサルモネラ菌

本学附属病院の入院外来患者32人からサルモネラ菌が検出され、下痢などの症状を訴えた。7月30日以降の発症はなく、全員、快復したという。茨城県保健衛生部の調べによると、病院内の調理施設で出た給食が原因。附属病院は調理室などの清掃、消毒を行い、同月29日から調理を再開している。

反射鏡

今月のテーマ 「教職課程」

複雑な履修申請 アドバイザーを

中川朋子(比文3年)

私は現在、英語科の教職課程を履修している。英語科指導法についての授業には大変満足している。とても実践的な内容であると同時に、教師を目指す者にとって、目標や希望を与えてくれるからだ。現在の教育現場からの視点で問題を捉

講義内容に不満 参加型の授業を

宮平鈴香(国際2年)

私は英語科と社会科の教職課程を履修している。その中で不満に思っていることがいくつかある。まず、授業を受けている実践的なことを学んでいる気がしないことだ。哲学や理論を学ぶことも大切だが、それに終始している。漠然としていて、ピンと来ない。

講義内容も似ている科目が多い。学類で必修になっている授業を犠牲にして履修しているのだから、もっと教職課程を体系化してほしい。単に教員免許の取得に必要な科目を開講するだけではなく、もっと授業間で連絡を強める必要があるのではないだろうか。

え、これからの指針を示してくれる。とても身につく授業である。しかし、事務職員と教員(特に非常勤講師)の間でうまく連絡がとれていない場面も多々見受けられる。特に履修申請や単位取得に関する場面での混乱が多い。とても複雑なので、混乱やミスが減らすために、事務職員・教員・学生で共通認識を形成する必要があるのではないだろうか。履修申請について言えば、もう少しわかりやすい資料を配布するとか、支援室にアドバイザーを置くなどの配慮が必要かもしれない。

異なる説明 支援室ごと

齊藤あすな(芸術3年)

私は芸術専門学群で、書道コースを専攻し、書道科の教職課程を履修している。現実に教員として採用されることを考えて、国語科の教職課程も履修している。書道科だけでは、採用数がかたがた減ってきている。書道科と密接に連携しているから、

専門科目犠牲に 課程を見直して

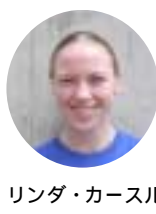
山崎和也(日・日3年)

国語科の教員免許取得を目指しているが、専攻する学類開設の専門科目と教職課程の両立が困難なことがある。その理由は、標準履修年次が3年に偏っているからだと思う。

これらの教職課程を履修しようとして、履修要覧のわりにくさに気付いた。わかりにくい表現や似た用語が多い。また私は、国語科や書道科の教職課程で比較文化学類の専門科目の受講が必要になっている。そこで、比較文化学類(生命環境)と芸術専門学群(人間総合)の両方の支援室に質問することがある。だが、質問に対する回答が異なることがあり、戸惑うことも多い。

一般的知識を持ち、アドバンスして知識を必要とする存在が必要とされているように思う。わかりにくい表現や似た用語が多い。また私は、国語科や書道科の教職課程で比較文化学類の専門科目の受講が必要になっている。そこで、比較文化学類(生命環境)と芸術専門学群(人間総合)の両方の支援室に質問することがある。だが、質問に対する回答が異なることがあり、戸惑うことも多い。

留学生の目



リンダ・カースル

日本にいればいるほど、あることに気付くようになる。母国にいる間、日本のステレオタイプのイメージしか習ってこなかった。いまになって、事実と似ているが、どの説明も、まだ足りない」といふ気がする。

母国にいた時の日本のイメージは東京と京都、サラリーマンと芸者、キティちゃんや侍、着物を着ている女性と原宿の若者のファッションだ。それらはもちろん極端であるが理解できる。どちらのイメージも日本人が尊重している昔と今の姿だ。しかし、一つの矛盾に

真摯な姿が 学校に活力

高校教諭・菅原佐知子

1、元気で大きな声(第一の必須条件)
2、いつも明るい笑顔(雰囲気作りが重要)
3、粉骨砕身(生徒のため)
4、謙虚に自己研鑽(何事をも少し考えてもらいたい)
5、周囲360度に目配り

驚いた。それは日本の宗教についてだ。というのはいは、日本人に聞けば、だいたいは「無宗教」と答える。しかし、どの日本人の家に神棚や仏壇があり、皆が守りを持っている。おそらく、受験生であってこそ、貴重な体験となることを肝に銘じて、強い使命感を持って臨んでいただくことを切望します。その真摯な姿が、生徒や現場の教師に新鮮な活力を与え、という大役をも、担えるのです。求め、熱血実習生！(茨城県立竹園高校 教育実習担当)



宗教の習慣混ざる日本 両立させる矛盾が魅力

生は皆が神社で絵馬を書いている。無宗教であると同時に、宗教の習慣に慣れている。なぜ日本人は無宗教と信じているのか。たぶん日本人は、欧米の宗教のステレオタイプのイメージ

次号のテーマは 「私の学群再編案」です

連絡先は
TEL 029(853)6699
e-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

「比較市民社会・国家・文化 特別プロジェクト」について

組織の沿革

比較市民社会・国家・文化特別プロジェクト(以下、CSC)は、03年4月に筑波大学の特別プロジェクトとして設置されました。CSCは、学問的・社会的要請が強く、単独の学問体系では遂行が難しい学際的な総合研究を行うための組織として、幅広い専門性を有する学内の62人の研究員(うち6人専任研究員)と外国研究者を含め41人の客員研究員によって編成されています。

本プロジェクトの射程
CSCは、様々な地域間の相違を超えて、地球化時代のいかなる価値や文化を共有財産として構想しうるか、そしてどのような公共政策が実現可能であるかを、学際的な共同研究によって明らかにしようとするものです。

CSCは、個別の文化性を保持した上で、市民社会と公共性にどうなるかを追求しています。地球化に伴い、先進国(アメリカ)の(な)画一への流れが強く、一方で、「文明的」「文化的」な衝突や摩擦を引き起こされています。

CSCは、人文科学と社会科学が有機的に結合した新しい学問分野としての比較「公共学」比較「市民社会学」比較「文化価値学」の樹立を研究実践の目標としています。

これまで、研究成果として、セミナー活動に際しては、昨年度は研究会を11回、CSC主催の講演会を計25回実施しました。今年度は講演会をセミナーシリーズと名前を新たに計10回、研究会を計3回開催し

公共性・市民社会の普遍化

岩田拓夫

論を共有してきました。また、問題意識を共有する研究者のグループによる特定領域の研究を深めるため、複数の研究会が立ち上げられ、現在では11の研究会が活発に活動しています。そしてCSCでは、ただ議論を深めるだけでなく、成果を世に問い、研究成果を発表していくことを重視しています。著書、叢書、モノグラフシリーズ(シンポジウムの記録や未発表研究の公表などを目的とし、研究員が報告書などの形で研究成果を分かち合っており、今年度後半には、外国から講師をお招きしてシンポジウムを開催する予定です。また、研究活動の蓄積・成熟を経て、次々と研究成果を世に問うていきたいと思っています。

8カ国の調査データを公表
カ国の市民社会組織の現状についてデータを収集し、比較分析を継続してまいります。日本の調査データについてはすでに公開中です。他の国の市民社会団体のデータについても随時公表していきます。

CSCセミナーシリーズは、今後は毎月2回開催する。9月17日(日)に「イ・アバシ・コヴェル」(人文科学)がイスラーム社会を、21日に田中洋子(同)がドイツの市民社会を論じる。場所は共に、本社棟B721で、午後4時45分から。

活動の展望
CSCでは、今後様々な研究会活動を活発に開催すると共に、一定の成熟を見たテーマに関してはシンポジウムという形でより広く、分かりやすい形で議論や成果を分かち合っており、今年度後半には、外国から講師をお招きしてシンポジウムを開催する予定です。また、研究活動の蓄積・成熟を経て、次々と研究成果を世に問うていきたいと思っています。

改修と意識向上 急務に

障害学生 支援委員会

障害をもつ学生に進学情報を提供する全国障害学生支援センター(本部「東京・町田市」は、1994年から「大学における障害学生の受け入れ状況に関する調査」を行っている。01年度の調査をもとに作成された「障害学生支援フロンティア」で、本学は全国682校中総合3位だった。部門ごとに見ると、「授業全体配慮」が1位、「総合的支援体制」が3位と健闘したものの、設備では13位と評価が落ちた。

本学のバリアフリーの実状と今後の課題を調査した。(本紙・沖浦裕明、川瀬健史、平野奈央「比較文化類・城下めい子」日本語・日本文化学類、菊地亮「図書館情報専門学群」)

支援者不足深刻に

望に対応するほか、障害学生支援室を通じて、聴覚・視覚・運動の各障害に対応した支援を行っている。一般学生にも、障害者支援ボランティアなど、運動障害学生にたいしては、一度あるだけで、障害学生が各学群に在籍する今、一部の学群で、障害に起因するきめ細やかな支援が必要だが、後手に回るのが現状だ。今後は、委員会のホームページなどを利用して支援方針を探る予定だ。

運動障害学生を支援する体制づくりも課題だ。「支援者である学生にも、障害学生との学生生活が重なる経験となることを知ってもらいたい」と話した。

学生生活

学内施設のバリアフリーを体感しようと車いすを常用する学生に同行取材した。取材に協力してもらったのは猪瀬剛伸さん(自然3年)だ。猪瀬さんは電動車いすを使用し、一の矢宿舎に一人で暮らす。

筋ジストロフィー症候群で、全身の筋力が衰える障害がある。現在は両手の手首から先と首から上の筋肉しか動かせない。

小学校6年生から車いす生活を始め、大学入学後は、レバーを用いて片手で操作できる電動車いすを使っている。現在は、「ほぼ共同生活みたいになっていて、イノッチの会」と呼び合っている。

猪瀬さんの「自立生活をしたい」という思いに込め、有志約10人が24時間体制で支援している。(問い合わせ) = ochoo@ochoo.ne.jp (猪瀬)

車いすの学生生活

学生生活

移動用リフトは天井に備えられていて、室内を容易に行き来できる。脇の下と膝の裏に2本のベルトを通して、乗心地は「UFOのような感じ」。

移動用リフトは天井に備えられていて、室内を容易に行き来できる。脇の下と膝の裏に2本のベルトを通して、乗心地は「UFOのような感じ」。

障害に気づいて内部改修

猪瀬さんには、トイレとユニットバスが付いた二人部屋が割りあてられたほか、移動用のリフトが新設された。介助者がいても浴室風呂に入れないため、浴室付きの部屋を要望したからだ。



リフトで移動し、車いすに乗る猪瀬さん(一の矢宿舎で)



歩道上の乱雑な駐輪に行く手をばまれる(体育センター付近で)

徳田教授に聞く課題と提案



徳田教授

本学の障害学生支援をどう評価すればよいか。バリアフリーの現状と課題について、福祉心理学やバリアフリー論を専攻し、昨年度まで障害学生支援委員会の委員を務めた徳田克己教授(人間総合)に話を聞いた。

ボランティア講座必修に

「ボランティア講座必修に」とは、日々の「運用」が難しい。罰則で規制することも可能だが、教育や情報提供によって、抜本的に問題解決を図ることが大切だ。

バリアフリーに向けて、他の大学生より詳しいという認識が、世間に広まれば理想的だ。

ペDESTリアンループ道路

ペDESTリアンで最も目立つのは、路面舗装の凹凸がひどいこと。中央図書館前が特にひどく、神経が緊張する。凹凸がひどい場所を通るたびに車いすが左右に揺れる。「走っていると、車いすがブルブル震えて不安になる」と話す。雨の日も濡れ、タイヤが滑りやすくなるから、必要箇所を調べた。

急坂、駐輪 障壁に

急坂、駐輪、障壁に。ペDESTリアンで最も目立つのは、路面舗装の凹凸がひどいこと。中央図書館前が特にひどく、神経が緊張する。凹凸がひどい場所を通るたびに車いすが左右に揺れる。「走っていると、車いすがブルブル震えて不安になる」と話す。雨の日も濡れ、タイヤが滑りやすくなるから、必要箇所を調べた。

学生の声聞き改善

学生の声聞き改善。猪瀬さんには、トイレとユニットバスが付いた二人部屋が割りあてられたほか、移動用のリフトが新設された。介助者がいても浴室風呂に入れないため、浴室付きの部屋を要望したからだ。

本学のバリアフリー

中央図書館

附属中央図書館の入口には勾配のゆるいスロープが設けられている。しかし、出入口のゲートは、車いすでも通れる幅はあるものの、自力では開けられない。いつも友人にバールを開けてもらわなければならない。猪瀬さんは化学系の文献を探す時は友人に頼むことになる。

車いす専用机使えず

猪瀬さんは化学系の文献を探す時は友人に頼むことになる。しかし、身動きがとれる幅ではないので、本を探す時は友人に頼むことになる。新館には車いす用のエレベーターが完備されている。広さは約2・3平方メートル、一般のエレベーターより扉の開閉時間も13秒長い。また、後ろ向きのまま出られるように、壁に鏡が取り付けられている。しかし高さ90センチの位置



車いす用の机だが、猪瀬さんの車いすには、高さが足りない(附属中央図書館で)

第一学群棟

猪瀬さんがよく利用する第一学群D棟にも足を運んでみた。1D204教室に行く手前、「J」型に曲線を描いたスロープがある。スロープの曲線で距離を伸ばし、傾斜をゆるやかにしている。

怖い滑るスロープ

しかし、猪瀬さんがスロープを通ると、床がつるつるしているため車輪が滑り、車いすが斜めになる。介助者に支えてもらわなければかえって危険だ。「スロープが曲がっていると使いづらい。車いすの操縦技術が必要になるとも指摘する。教室に入ると、猪瀬剛機といすが床に固定されて伸専用、他者の使用を禁止」と書かれた机が目に入る。猪瀬さんは授業の担当教員と相談し、専用の机を設計がされていいため、階



床がつるつるで助けを借りる猪瀬さん(1学D棟で)

視覚障害の場合



河内清彦教授

視覚障害者にとって、学内のバリアフリーはどのようになっているのだろうか。専門とする河内清彦教授(人間総合)に聞いた。河内教授は、治療薬の副作用で12歳のときに失明した。河内教授によると、視覚障害者が困るのは「移動」と「文字」だ。「文字」の問題は、点字変換プリンターや音声機能付きのパソコンを置かなければいけない。河内教授は話している。

駐輪の危険性認識して

実質的な障害者支援を

河内教授によると、視覚障害者が困るのは「移動」と「文字」だ。「文字」の問題は、点字変換プリンターや音声機能付きのパソコンを置かなければいけない。河内教授は話している。河内教授によると、視覚障害者が困るのは「移動」と「文字」だ。「文字」の問題は、点字変換プリンターや音声機能付きのパソコンを置かなければいけない。河内教授は話している。



バイオプロダクト

生活習慣病抑える物質 砂漠の生物に原料探す

砂漠は乾燥と昼夜の激しい気温差、強烈な紫外線など生物にとって過酷な環境だ。生物内に活性酸素が発生し、悪影響を受ける。だが、砂漠の生物は、そんな環境に適応し、成長を続ける。何故だろうか。一方、文明病と呼ばれる生活習慣病は、運動不足や栄養バランスが崩れたとき、体内に活性酸素が貯まるために発症することが明らかになっている。キーワードは「活性酸素」だ。食品・医薬品の原料となる生物を探すバイオプロダクト(有用)



砂漠に自生する「砂漠人参」から抗酸化物質を発見した。従来の抗酸化物質より酸化抑制力が高く、神経細胞死を防ぎ、アルツハイマー症を抑制

生物資源探査)を専攻している猪瀬博子助教(生命環境)は、活性酸素を抑える抗酸化性に着目して、生活習慣病を抑制する物質の開発に取り組んできた。猪瀬助教は乾燥地植物に着目し、活性酸素の発生を抑制する物質を要する「気の遠くなるような作業」だった。03年には、中国・ゴビ砂漠に自生する「砂漠人参」から抗酸化物質を発見した。従来の抗酸化物質より酸化抑制力が高く、神経細胞死を防ぎ、アルツハイマー症を抑制

5月には、この研究が評価され、日本沙学会第15回記念学術大会で学術論文賞を受賞した。猪瀬助教が乾燥地植物に着目したきっかけは、ミネソタ州の西アジアからアフリカに住む人々は、ミネソタ州の植物が活性酸素にどう作用するかを調べ、植物中の物質は抽出法や希釈の仕方でも効果が異なる。そのため、20種の植物に対し、蒸留水、エタノール、ブタノールなど10種類の抽出液に10種類の希釈を行い、計2千通り試した。約5年



下田の実習から水族館へ むずかしい海藻類の管理

佐久間茂雄さん

私は現在、福島県いわき市にある水族館「アクアマリンふくしま」で飼育職員として勤務しています。水族館を一言で表現すれば、「水の世界の『そき窓』」と云うことができます。人間にとって水中は非日常の世界ですが、水族館はガラス一枚隔てた向こう側に、その世界を身近に感じることができる場所なのです。そんな職場で私がかつた大きな柱があります。1つは新規展示の開発と生物・水槽の管理。もう1つは教育普及活動です。担当する展示も再現実した生態系展示も造ることができ、

女子は15連覇16度目

男子2位、東海大に惜敗

女子 中野が学生新記録



陸上

第73回日本学生陸上競技対抗選手権大会(アネオオリンピック代表選手選考会)が7月2日から4日まで国立霞ヶ丘競技場(東京・新宿区)などで行われ、女子やり投げで中野美紗(体育研究科1年)が55メートル62の日本学生新記録で優勝した。

団体では、女子が15年連続16度目の優勝で王座を守ったものの、男子は2位に終わった。2年連続のアベック優勝はならなかった。

やり投げは記録が安定しない。5月の関東陸上インカレでは力みすぎで、51メートル06と失敗した中野だが、今回は落ち着いて試合に臨んだ。自己ベストを1メートル97伸ばした記録に

男子・三根は3位入賞

雨谷に優秀選手賞



剣道

学生剣道の日本一を決める第38回全日本女子学生剣道選手権大会・第52回全日本学生剣道選手権大会が7月4日、日本武道館で行われ、女子で菊池沙織(体育4年)が初優勝した。5月の関東大会を制した光永聖子(同)は、4回戦で国士館大・北川希依に惜敗し、ベスト8にとどまった。

男子では三根佑介(同3年)が3位に入賞した。男子が個人で3位以内に入賞するのは、5年ぶり。雨谷武蔵(同)は優秀選手に選ばれた。男子部の鍋山隆弘監督(人間総合・講師)は、「三根は、もともと潜在能力のある選手。この勝利を秋の団体戦にむけた弾みにしたい」と、期待を語った。

女子・菊池、念願の日本一



決勝戦で、高村の面をかろうじてかわす菊池(右)。この後も互いに技の応酬が続いた(日本武道館で)

女子の決勝戦、菊池は、飛び込んできた高村久美子(埼玉大3年)の面を紙一重で交わし胴を抜いた。「体が勝手に動いた」という。昨年、先輩の奥相舞(平成15年体育専門学群卒)に敗れ、3位に甘んじた菊池が1年越しの勝利を掴んだ瞬間だった。「あきらめなくなつた」と菊池は自身の成長を語る。

教育実習のため、本格的な練習を始めたのは大会1週間前。部内戦でも負けが続く、大会序盤は苦しい戦いが続いたが、「失うものは何もない」と積極的に攻め続けた。

東西インカレ2連覇

2年生トリオ原動力に



バレー

東西の強豪が集い日本一を争う「2004東西インカレバレーボール男子主座決定戦」が7月10、11の両日、つくばカピオ(つくば市竹園)で行われた。男子バレーボール部は地元の声援をうけ、2年連続優勝を決めた。

試合には東日本、西日本インカレでそれぞれ優勝準優勝した4チームが参加。本学は初日の準決勝で

東亜大を下し、決勝に進んだ。決勝戦は1セット目の序盤こそリードを許したが、すぐに逆転。その後は終始、リズムを崩すことなく試合を進め3-0で東海大を下した。

最大の要因は志賀崇(体育)ら2年生3人の活躍だった。この試合、志賀のスパイク決定率は46・9%。キャプテンの北島武(同4年)には劣るものの存在感を見せつけた。冬季に励んだ筋力の効果が表れ、「スパイクのフォームが格段によくつた」と都澤凡夫監督(人間総合・教授)は評価する。三上圭治郎(同2年)はスパイクだけでなくレシーブでも活躍。丸山祥二(同)は得意とする速攻でチームの攻撃の幅を広げた。昨年の同大会では、高校生の雰囲気が残っていたが、今年度は、高校生が格段に

車いすスポーツ楽しむ

のりからスポーツ楽しむ

車いすを常用する子供たちにもスポーツを体験してもらう「パラエティビリティサマーキャンプ」が、筑波大学で実施された。

第一サッカール場のフィールドが人工芝に生まれ変わった。グリーンサンドと呼ばれる特殊な表土から、未だ人工芝(MONDOタフ)に貼りかえ、実戦的な練習が可能になった。工事は8月31日に完了した。

施工は、グラウンド整備に定評がある長谷川体育施設で、費用は約2800万円。人工芝は、MONDO



顔

菅選手自身の、高校時代から「ミス」の少ない丁寧なトスを心がけている。に戸惑いもあつたという。無我夢中でトスを上り、北島さんばかりに頼り、相手に攻撃を読まれていた」と振り返る。

1週間後の東西インカレでは冷静さを取り戻し、優勝に貢献したがまだまだ課題は多い。コート内での厳しい表情を崩し、チームに必要とされる選手、信頼される選手になりたい」と笑顔で話す菅選手。成長を続けるプレーの可能性は未知数だ。(本紙・沼尻知子「比較文化学類」)



菅直哉選手(体育1年)

トスの安定感 抜群のキレ

比較文化学類

菅選手の正確なトスを支えるのは、「ハンドリング」のキレのよさ」と言っている。

178センチの身長はセッターとしても小柄で、体格に恵まれているわけではない。それでも起用した理由を都澤凡夫監督(人間総合・教授)は、「トスの安定感と抜群のキレのよさ」と言っている。

菅選手は、今年度本学を卒業する。菅選手は、今年度本学を卒業する。菅選手は、今年度本学を卒業する。

第一サッカー場人工芝に

14日に記念イベント

安全性などで評価が高い人工芝の敷設を記念し、14日午前11時半から第一サッカー場で完成記念式が行われる。

フェスティバルでは、リーグの創設に尽力した木之本興三氏(東京教育大卒)や、井原正巳氏(本学出身)の元Jリーガーや現役選手を招き、トークショーを行う。ダンス部や吹奏楽団の公演も予定されている。

第51回全国公立大学選手権大会が8月7、8の両日、静岡県富士水泳場で開催される。水泳部は競技種目30のうち、16種目で優勝3種目で表彰台を独占し、男子

本学勢アテネ五輪の記録

柔道女子63キロ級で快心の金メダルを獲得した谷本歩実(コマツ、平成15年度体育専門学群卒)の活躍のほか、本学学生や卒業生がアテネ五輪に出場し、健闘した。

サッカーでは、男子の平山相太(体育1年)、女子の安藤梢(同4年)が出場したが、男子は予選リーグ敗退、女子は準々決勝でアメリカに敗れた。平山は、予選リーグ1試合目のパラグアイ戦に勝利し、健闘した。

半29分から出場、安藤も初戦のスウェーデン戦に後半11分から40分まで出場した。

競泳にはバタフライの大西順子(コマニスポート、8年度体育卒)と自由形の永井春子(OKS、15年度体育卒)の2人が出場した。大西は、100メートル決勝に残ったが、8位に終わった。永井は、200メートルと100メートルで準決勝敗退だった。大西、永井がそろって出場した4x100メートルメドレーリレーは5位に入賞した。

陸上では、110メートルハードルの谷川聡(三ノ、10年度体育研究科修了)が、1次予選で13秒39の日本新記録をマークしたが、2次予選で敗退した。

その他の選手の結果は「ライフル射撃」柳田勝(自衛隊体育学校、12年度体育研究科修了) 3姿勢個人50メートル16位 伏射個人50メートル24位

「柔道」高松正裕(旭化成15年度体育卒) 男子73キロ級2回戦敗退

「ビーチバレー」徳野涼子(ダイキ、8年度体育卒) 1次リーグ敗退

「陸上」杉林孝法(三十八ウズ、9年度体育卒) 三段跳び16メートル00、予選敗退

「ライフル射撃」柳田勝(自衛隊体育学校、12年度体育研究科修了) 3姿勢個人50メートル16位 伏射個人50メートル24位

「柔道」高松正裕(旭化成15年度体育卒) 男子73キロ級2回戦敗退

アテネで2メートル

昨年度、体育専門学群を卒業した鈴木徹選手(科目等履修生)は、走り高跳び(F44クラス)に半年で出場したシドニー出場する。アテネでの目標は2メートル、自己ベストは190センチだ。

練習中、2メートルのバーを前に、10センチの差が大きい」となげく。まだ実際に越えたことはないが、イメージは出来ている。「以前に比べたら高さを感じなくなった」といい、メダルを意識せ



鈴木徹(走り高跳び)

齊藤晃司選手(附属盲学校専攻科3年)は陸上競技100mと200mに出場する。シドニーは100mで4位に立っていた。2度目の今回は金メダルを狙う。

20歳の時、交通事故で失明した。それまでサッカーを続けてきたが、事故後、1年で20キロも太ってしまった。健康維持のために走り始めたのが

妻、伴走者と三人四脚

ある夜の練習。ストレッチをしながら土田さんが齊藤選手に新しいスパイクの具合や脚の筋肉の調子を尋ねる。トレーナーのようだ。膝の上げ方や上体の起こし方などフ



齊藤晃司(陸上・短距離)

柔道81キロ級に出場する加藤裕司選手(理学療法士)は、初出場ながら金メダルを目指す。

強敵は、代表枠をかけた昨年の世界大会で優勝したフランスの選手と、2位のハンガリーの選手。フランスの選手は引き手を肩の奥に持ち、小外刈りを狙う。外国人らしいに

得意の内股切れるか

柔道81キロ級に出場する加藤裕司選手(理学療法士)は、初出場ながら金メダルを目指す。

強敵は、代表枠をかけた昨年の世界大会で優勝したフランスの選手と、2位のハンガリーの選手。フランスの選手は引き手を肩の奥に持ち、小外刈りを狙う。外国人らしいに

本学からメダル候補ズラリ アテネパラリンピックへ

9月17日に開幕するパラリンピックに、11人の本学関係者が出場する。アテネへの熱い思いを5人に聞いた。

「5円玉を通して見てみるようなもの」。アテネパラリンピック水泳競技(高)

酒井喜和(水泳) 5種目に出場する附属盲学校の酒井喜和選手(高)



酒井喜和(水泳)

世界新記録で金再び

分の視界の狭さをそう表す。生まれつきの網膜色素変成病だ。視野損失率は98パーセントで、2度程度の範囲しか見えない。

4歳から水泳を始めたが、視野が狭いため、タインで壁に激突することも多い。「集中力が足りない」と怒られた」と苦笑いする。プールの底のラインを目印にするが、後半

国際大会で金3の実績

視覚障害者が競技するブラインド水泳。最も障害の重いB1(全盲・光覚)に所属するただ一人の女性スイマーが附属盲学校の秋山里奈選手(高等部1年)だ。

ブラインド水泳では、コースロブに寄り、肩や手でロブを感じながら、直進する。ターンは、コーチに指示棒で叩いて



秋山里奈(水泳)



加藤裕司(柔道)

加藤選手が高校生の頃から通う牛窪道場の館長で、自身もソウルとアトランタパラリンピックで金メダルという戦歴をもつ牛窪多喜男さんは、「金メダル候補の1人。あとはプレッシャーとの戦いと激励する。」

記録ファイル

- 柔道 第53回全日本学生柔道優勝大会(6月26、27日、日本武道館) 1回戦 筑大7 0 秋田大 2回戦 筑大6 1 関西学院大 3回戦 筑大4 3 日大 準々決勝 筑大1 1 6 東海大 優秀選手 加藤裕司(体育3年)
- 第13回全日本学生女子柔道大会(5月5日、6月27日、日本武道館) 2回戦 筑大4 0 天理大 準々決勝 筑大4 0 埼玉大 準決勝 筑大0 1 東海大 同 福見友子(同1年)

研修所の利用者減

サークルやゼミ合宿の やスキーなどレジャーを 常宿として親しまれてき 手近に楽しめる立地条件 た山中共同、館山、石打

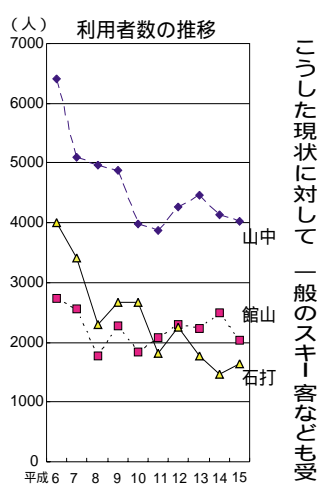


体育施設で汗を流す利用者 (山中共同研修所で)

石打は10年間に6割減 ニーズや満足度が変化

学生や教職員が安い宿 泊料で利用できる施設と して3研修所は、197 5年に前身校から移管さ

利用者数の推移 (人) 7000 6000 5000 4000 3000 2000 1000 0 平成6 7 8 9 10 11 12 13 14 15



落ち込んだ。 何故利用者が減ったの か。研修所周辺の観光客 減少とも無関係ではなさ

中学生の学力向上に一役 谷田部中の夏期講習 本学生48人が学習指導

中学生の学力向上に本学 生が一役買っている。つく ば市立谷田部中学校の夏期 講習「谷田部塾」で、本学



「大学生になら相談しやすい」と好評

生48人が8月の3週間、夏 期講習。 休みの課題や受験勉強の相 談相手になるなど学習指導 に携わった。

は「生徒が勉強を分かって くれたときは嬉しかった。 また参加したい」と話す。

同市からの協力要請に、 吉田武男・助教(人間総 合)が応じた。10月には、 谷田部塾の特別企画とし て、藤田晃之・助教(人間 総合)が「英語で地理歴 史を学ぼう」と題して授業 を行う。

参加する学生を現在も募 集している。詳細は、各学 群の教職関係の掲示板をみ ること。問い合わせ02 9・8553・4744(吉 田助教)まで

学生会 月内に学食アンケート 厚理 食堂ウォッチャー検討

第55回厚理学生会が7 月12日に開かれた。法人化 に伴い会則を変更したほ か、昨年度の収支決算や今 年度予算案を審議した。林 史典理事長(学生生活・教 育担当副学長)が体芸食堂 の改善について「昨年度か ら継続している重要な問 題」として、サービス改善 に意欲を見せた。

16カ国49人入学

平成16年度の二期期入学 式が8月6日に行われ、学 生36人、大学院生13人の 計49人が入学した。入学者 の氏名、出身は次の通り。

- 社会学類「三苦周平 (ネパール)、森田康平 (山直樹(アメリカ))」

つくばガバナンスプロジェクト 院生ら21人が設立 市に12の政策提言

本学生が、日々の研究成 果をもとに、つくば市へ政 策提言するシンクタンク 「つくばガバナンスプロジ エクト」を設立した。メン バーは、代表の五十嵐立青 さん(人文社会科学研究所 3年)ら21人、経営、政策 研究科、人間総合科学研究 科、国際学類など様々な分 野から参加した。

車椅子から 障害者というイメージ

大学に入ってから、友人との会話で障 害が話題になることがあるが、高校のこ ろは誰も触れようとしなかった。先日、 りがらばっていったとは思われない。 柏で高校時代のクラス同窓会が あったので、そのことについて 聞いてみた。返ってくる答えは 一様に「だって、聞きにくいよ かった。」

まったりつくばで コミ問題訴える

環境問題に取り組む学生 サークル「Na(な)み」が8月28、29の両日に開か れた「まったりつくば」で、 コミの分別回収などを行 いました」と語った。

- 社会学類「河野裕美 (ドイツ)」
- 工学システム学類「 秋谷優(サウジアラビア)、 浅野浩平(北海道)、林壮 太郎(ドイツ)、原田翔 (マレーシア)、平松良介 (岡山)、宮川雄磨(イギリ ス)、山田佳祐(アメリカ) 体育専門学群 上原杏菜、金田昌大、中 澤陽平、藤本龍一(アメリ カ)

88人巣立つ

一学期卒業式 一学期卒業式が7月23 日、大学会館特別会議室で 行われ、二期期入学生21人 が学位記を受け取った。

「大学生活は一生の思い出」

AC1期生片桐さん卒業



学位記を手に、「次はオランダの大学院です」と片桐さん

多様な学生に入学してからも、2000年度に始まったアドミツションセンター(A.C)入試の一期生、片桐礼子さん(62歳・国際)が7月、卒業した。片桐さんは英語教室を開いていたが、「もう少し勉強したい」と、59歳のとき入学した。面接した同センターの渡邊公夫教授(数理学)は「実をいうと、片桐さん自身の頑張りよりも、他の学生の刺激になるのでは、と期待した」と話す。国際関係学を専攻し、国

た。しかし、違和感はずくに消えた。「机を並べれば、同じ学生。特に私が目立っているとは思わなかった」といい、一般学生との年齢の違いを感じさせない。3年生の時、オランダの人文主義者、エラスムスの「平和の訴え」を読み、人文主義に興味を抱いた。卒業論文もエラスムスの「平和論」を参考に、現代における平和論を論じた。

現在も、オランダの大学院に進学するための勉強を続けている。引き続き人文主義を学びたいからだ。「年齢的には厳しいけれど、チャンスがある限り挑戦したい。大学に通い、学ぶことに対して以前より欲張りになった」と、次の目標に向けて目を輝かせた。

同センターの山根一秀(同期)は「AC生も一期生が卒業し、五期生を迎えた。片桐さんを含め、AC入学者の特徴や卒業後の活躍などを総括すべきだろう」と話す。

今年度の雙峰祭公式キャラクターは、ポスターとマスコットキャラクターが決定した。ポスターは越智朋子さん(国際2年)、マスコットは小沢典永さん(比文2年)の作品が選ばれた。

ポスターのテーマは「飛躍」。筑波山から飛び出す色とりどりの蝶、つくばから学生の力が羽ばたき、とを表現した。マスコットは手をつなぐ

学生による主体的な就職情報の提供を行っているサークル「C Station」が日経ネット「ビジネス・カレッジ・プランニング」コンテストで準優勝した。コンテストは6月25日、東京・港区の赤坂プリンスホテルで開かれた。次代のリーダー育成プログラムを目指し、理想のリーダーをテーマにアイデアを競った。本学チームは、旅行という身近な体験を通じてグループの軸を探さず

「日経ネット」コンテスト C Station 準優勝

祭学生分担金の一括集金が今年も行われ、回収率は97%と昨年度に引き続き高率となった。本学の学園祭は、新入生から4年間分の学資金2400円(医学類は6年間分の3600円)を一括で回収し、学園祭運営費に充てられている。

勝という結果に当時、代表だった今野良彦さん(理工学研究科2年)は「プレゼンテーションはまだ改善点があるが内容はどこにも負けていなかった」と振り返る。

本学と中央署が意見交換を進める

キャンパス内と周辺地域での学生・教職員の安全対策を検討する「セーフティ・プロジェクト」が6月29日、同日29日につくば中央署と初会合を行った。本学が関係した事件・事故を毎月、報告するなど、意見交換を進める。

同プロジェクトは、リーダーを工藤典雄副学長(総務担当)が、サブリーダーを林史典副学長(学生生活・教育担当)が務める。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

また、「安全安心まちづくり」のつくば市とも連携を進める方針で、キャンベインのシンボルマークを西山潔教授(人間総合)が考案した。セーフティタウンのイメージ「s.t.t」を組み合わせてデザインした。

各学類で特色ある催し 在学生による体験談も

「受験生のための説明会」が7月27、28の両日行われ、のべ7124人が参加した。今年度は全学説明会を取りやめ、学類・専門学群ごとの説明会とした催しを工夫した。

看護・医療科学類や社会学類では「看護・医療の最先端」「都市計画」など模擬講義を行ったほか、自然学類は、研究内容を紹介するプレゼンテーションで、学問とは何かを受験生に伝えた。

高校生を対象に最先端の研究や大学教育を体験してもらおうと、7月28、29日と8月6日に工学基礎、工学システム、自然の3学類が体験学習を行い、のべ325人の高校生が参加した。自然学類の夏の体験学習は今年で12回目。

工学システム学類では、「地震に負けない建物づくりコンテスト」秋田竿灯

祭りを模型自動車で再現してみようなどを準備した。「地震に負けない建物づくりコンテスト」では、どのような被害が出るのか実験した。在学生らの助けを借りて実験を体験した高校生は、「大学の研究が味わえて良かった」と話した。

工学基礎学類では、2000年にノーベル化学賞を受賞した白川英樹名誉教授の「導電性ポリマーの原理と応用」の実験などを行った。自然学類では数学、化学、地球科学、物理学の分野ごとに「素粒子論の講義や「光の干渉」の実験を

7月のある夕方。気温、30度を超える猛暑のなか、つくば市台坪の畑でジャガイモを収穫している人たちがいる。4月に種を蒔き、収穫のこの日まで育ててきた「ひえの会」のメンバーだ。

ジャガイモを傷つけないよう注意しながら、鍬で土を掘り起こす。ダンシヤク、メークイン、アントルの畑を農家から借り、テスレッドなど6種類のジャガイモが育てられた。写真は、会員は学群生4人、院生8名、職員は計12人。畑は、全員が、綿花、大豆、小豆、よう集中する。心が落ち着くんですよ」と語る。

地域と野菜作り楽しむ

冬の間は、個人区画には、ハーブ、作のネギやニンジンなどベニバナなど各会員が育てたいものを植えている。穀おにぎりの店を出して、無料サービスの手作り麦茶も好評を博した。会の活動を知らせただけでなく、農業の新たな魅力も発信できた。



「受験生のための説明会」が7月27、28の両日行われ、のべ7124人が参加した。今年度は全学説明会を取りやめ、学類・専門学群ごとの説明会とした催しを工夫した。

看護・医療科学類や社会学類では「看護・医療の最先端」「都市計画」など模擬講義を行ったほか、自然学類は、研究内容を紹介するプレゼンテーションで、学問とは何かを受験生に伝えた。

高校生を対象に最先端の研究や大学教育を体験してもらおうと、7月28、29日と8月6日に工学基礎、工学システム、自然の3学類が体験学習を行い、のべ325人の高校生が参加した。自然学類の夏の体験学習は今年で12回目。

工学システム学類では、「地震に負けない建物づくりコンテスト」秋田竿灯

祭りを模型自動車で再現してみようなどを準備した。「地震に負けない建物づくりコンテスト」では、どのような被害が出るのか実験した。在学生らの助けを借りて実験を体験した高校生は、「大学の研究が味わえて良かった」と話した。

工学基礎学類では、2000年にノーベル化学賞を受賞した白川英樹名誉教授の「導電性ポリマーの原理と応用」の実験などを行った。自然学類では数学、化学、地球科学、物理学の分野ごとに「素粒子論の講義や「光の干渉」の実験を

7月のある夕方。気温、30度を超える猛暑のなか、つくば市台坪の畑でジャガイモを収穫している人たちがいる。4月に種を蒔き、収穫のこの日まで育ててきた「ひえの会」のメンバーだ。

ジャガイモを傷つけないよう注意しながら、鍬で土を掘り起こす。ダンシヤク、メークイン、アントルの畑を農家から借り、テスレッドなど6種類のジャガイモが育てられた。写真は、会員は学群生4人、院生8名、職員は計12人。畑は、全員が、綿花、大豆、小豆、よう集中する。心が落ち着くんですよ」と語る。

地域と野菜作り楽しむ

冬の間は、個人区画には、ハーブ、作のネギやニンジンなどベニバナなど各会員が育てたいものを植えている。穀おにぎりの店を出して、無料サービスの手作り麦茶も好評を博した。会の活動を知らせただけでなく、農業の新たな魅力も発信できた。

10月には綿花を収穫する。インドから直輸入したチャルカと呼ばれる糸紡ぎ機で、糸を紡ぐ。5さんや子供たちが声をかきながら、つくば市内で育てられる。「作業に使う道具から教わったこと、地元の人の支えがあって成り立っている」と前会長が話している。前会長は「地域の活性化に貢献したい」と話している。

「糸が途切れたり、太さがバラバラにならないように、より良い農法を探るなど、単に、畑仕事を体験するだけではない活動にしたい」と話している。

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化学類

「本紙・城下めい子」日本語・日本文化

Who's Who?

今夏訪れたエジプトの白砂漠で(本人提供)



体専卒業して世界遺産専攻へ

川崎 和将さん (芸術研究科1年)

今春新設された芸術研究科・世界遺産専攻1年の川崎和将さんは、体育専門学群から進学した。旅行代理店の社員など様々な経歴を持つ1期生21人中3人の男子学生の中でも異色の存在だ。陸上選手だった高校時代、栄養バランスに気を遣い、生活面でも自らを厳しく律した。そんな川崎さんが海外の文化、とりわけ世界遺産に興味を持つようになったきっかけは、エジプトのアンコールワット遺跡だった。学群2年の夏だった。「人生で一番楽しかった3か月を過ごし、忘れられない経験になった。いまでも海外旅行の拠点はタイの友人宅だ。この旅行以来、エジプトのピラミッド、スベイトのサグラダファミリアやアルファンブラ宮殿など世界遺産を訪れた。

アンコールワットの感銘 遺跡の保存科学に情熱を

昨年夏、韓国・慶州の仏国寺と石窟庵へ出かけ、だが川崎さんにとって、韓国は単なる観光地ではない。「人生で一番楽しかった3か月を過ごし、忘れられない経験になった。いまでも海外旅行の拠点はタイの友人宅だ。この旅行以来、エジプトのピラミッド、スベイトのサグラダファミリアやアルファンブラ宮殿など世界遺産を訪れた。

「あやつく卒業式に間に帰る。9月の日程は次の通り。第1回、ダイヤモンド・ビック・アンド・リード社による自己分析講座1が9月29日午後1時45分から。結果は、10月13日に行われる自己分析講座2で分析可能だ。第2回、9月29日午後3時半から、SFCインキュベーション・ベレッツ研究センター・シニアムによる、問題発見解決能力を試す記述式テストを受けられる。テストの結果は日本たばこ産業(JT)や資生堂など14社の協賛企業に無記名で公表される。回答に興味を持った企業から面談のオファーがあるかも知れない。受験希望者は、9月22日午後5時までに学群・学生部就職課(029・853・2254)へ申し込むこと。

第30回記念企画も充実

30回目を迎える今年の雙峰祭は、10月9から11日までの3日間、開催される。今回の呼び物は、後夜祭で行われる大抽選会。後夜祭も検討したが、周囲が明るく画面が見づらいため、見送った。学園祭実行委員会主催の本部企画では9日、関東学

生プロレスがお笑いコミックマッチを披露する「学生プロレス」、お笑いグループ「ベナルティ」、「エネルゲン」による「お笑いライブ2004」を開催する。11日には、アニメ「ドラゴンボール」のクリリンを演じた声優や舞台役者として活躍する田中真弓さんを招き、講演会を開く。毎年恒例の後夜祭D.I.S.C.OはCLUBに名称を変え、ゲストにDJ・MAS

就職活動支援 社会人迎えて講演も

人文学類就職説明会が10月1日午後4時35分から6時35分まで1D2004で行われる。講師は、フジテレビ総務局総務部の松山耕二・専任部長(昭和57年度同業類卒業)と土浦第一高校の元校長・長瀬宗男氏。他学類の学生も自由に参加できる。問い合わせ先029・853・4001(人文学類長室)

参加団体・スタッフ募集

来年5月に行われる予定の第21回つくば芸術祭(主催「芸術系サークル連合会」)の参加申し込み締め切りが間近だ。参加すると、ステージ発表や舞台公演など芸術に関する催しを開くことができる。締め切りは9月24日午後6時まで。参加団体は、準備委員会・実行委員会に毎回出席する担当者を選出しなければならぬ。実行委員会スタッフも募集している。任期は10月から1年間。締め切りは9月24日午後6時まで。

次号は 10月18日(月) 発行予定です

筑波野生動物図鑑



ジャコウネコ科の哺乳類で、マングースに近い種と名付けられた。本来は、中国南部や東南アジアなどに分布している。日本にはかなり以前から移入されたと考えられている。写真は松見下池で撮影したが、合宿所裏の弓道場周辺でも目撃されている。昆虫、鳥、果実などが豊富な緑地で生活しているようだ。(写真「諸沢崇裕、文」松家大樹・ともに資源三年、野生動物研究会)

催事

スポーツデー 秋季スポーツデー 10月23、24日。正式種目はバレー、サッカー、キックベースボール、卓球、駅伝ソフトテニス。申込みは9月21日から10月1日まで次の場所で行われる。

学園祭 東京家政学院筑波女子大学学園祭「KVA祭」10月23、24日開催。24日にはクロスカルチャー・トーク、太鼓の演奏、ドッジボール大会、後夜祭(出演「リアルジャム」など)を行う。フリーマーケットは同日開催。問い合わせ先029・858・4814(学生課まで)

大学館書籍部ベストセラー

1	空中ブランコ	奥田英朗/文芸春秋
2	世界の中心で、愛をさけぶ	片山恭一/小学館
3	数え方の辞典	飯田朝子/小学館
4	グッドラック	アレックス・ロピラ他/ポプラ社
5	邂逅の森	熊谷達也/文芸春秋
6	いばらぎじゃなくていばらき	青木智也/茨城新聞社
7	High and dry (はつ恋)	よしもとはなな/文芸春秋
8	いま、会いにゆきます	市川拓司/小学館
9	ダーリンは外国人	小栗左多里/メディアファクトリー
10	ICO霧の城	宮部みゆき/講談社

8月の第1位は直木賞を受賞した奥田英朗の「空中ブランコ」。第3位は「数え方の辞典」。数詞の意味と用法を飯田朝子が解説。白は「一握え」、パイオリンは「一挺」などの豊かな助数詞・単位がある。本書は、日常的に数える対象となる約4600語の名詞を選びその数え方を示す。9月の催事は、岩波書店ブックフェア(10%オフ、10月2日まで)、桐原書店ブックフェア(15%オフ、9月末まで)。